

# Reform Story

お客様一人一人が思い描いた憧れと願いを、  
一つ一つ繊細且つていねいに現実化していく  
「綿半リフォーム」それぞれの物語。

■家族構成  
ご夫婦、両親

■工事内容  
全面リフォーム（LDK、部屋、お風呂、洗面室、トイレ、玄関、バリアフリー）、外装、外構、屋根、耐震



車庫兼用の広々玄関

## 築100年、趣をいかす古民家リフォーム



我が家は両親と私たち夫婦の4人暮らしです。南面が広い通りに面した築100年くらいの家で大変愛着がありました。しかし、耐震的な不安や長野市北部で雪が多く冷え込みも厳しいので暖かい家にしたかったのと、父親が車いす、母親も杖をついての生活のため、段差をなくしてバリアフリーにしたいなど色々な思いがあったため、思い切ってリフォームに踏み切りました。

両親の思い出のある家でもあり予算などもあってなかなか実行に移せなかったのですが、何回もモデルルームなどを見学するうちに、綿半リフォームさんを知り、カタログを取り寄せて検討するなどして、信頼できそうだと感じたためお願いしました。

リフォームに当たってこだわったのは、古い柱や梁などを残し古民家風に見せてもらうこと、断熱窓にすること、車いす用のスロープを付けてもらうことでした。また、昼間休むことが多い両親の寝室は日当たりや風通しがよい位置にしてもらいました。

主要道路が南面にあるため、採光、通風のためにはプライバシー確保や騒音の面で問題がありましたが、高窓からの採光や二重サッシで解決しました。

耐震面では、既存の玉石基礎そのままに鉄筋入りの土間コンクリートを打設、さらに耐震壁をつりあい良く設置しました。

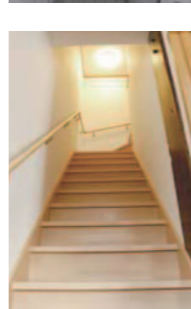
家の中すべてが新しくなり、妻はキッチンでの家事動線が短くなったことを喜んでいます。車いすの父親も自分で屋内どこへでも移動できるようになり、家族全員が楽しく生活できるようになりました。

りました。各部屋には黒く磨いた梁が昔の顔をのぞかせ、この家の歴史を伝えています。白壁と柱や梁のコントラストがより鮮やかになり、2階の窓の外に付けられた手すりも相まって、宿場の建物のような趣のある家になりました。

当初、金額面での心配もあったのですが、何度も何度も相談に乗っていただき、一つひとつ納得して工事の進み具合を見守っていくことができたのはとても良かったと思っています。



明るく風通しの良いキッチン



リビングにやわらかい光が入る吹抜け



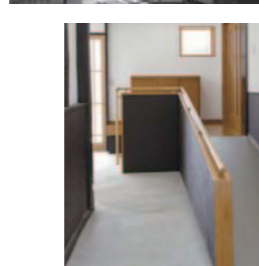
家族全員に優しいトイレ



防音と採光を配慮したリビング



明るく風通しの良い寝室



車いすが通れるスロープ